

令和7年度運動器機能評価報告会

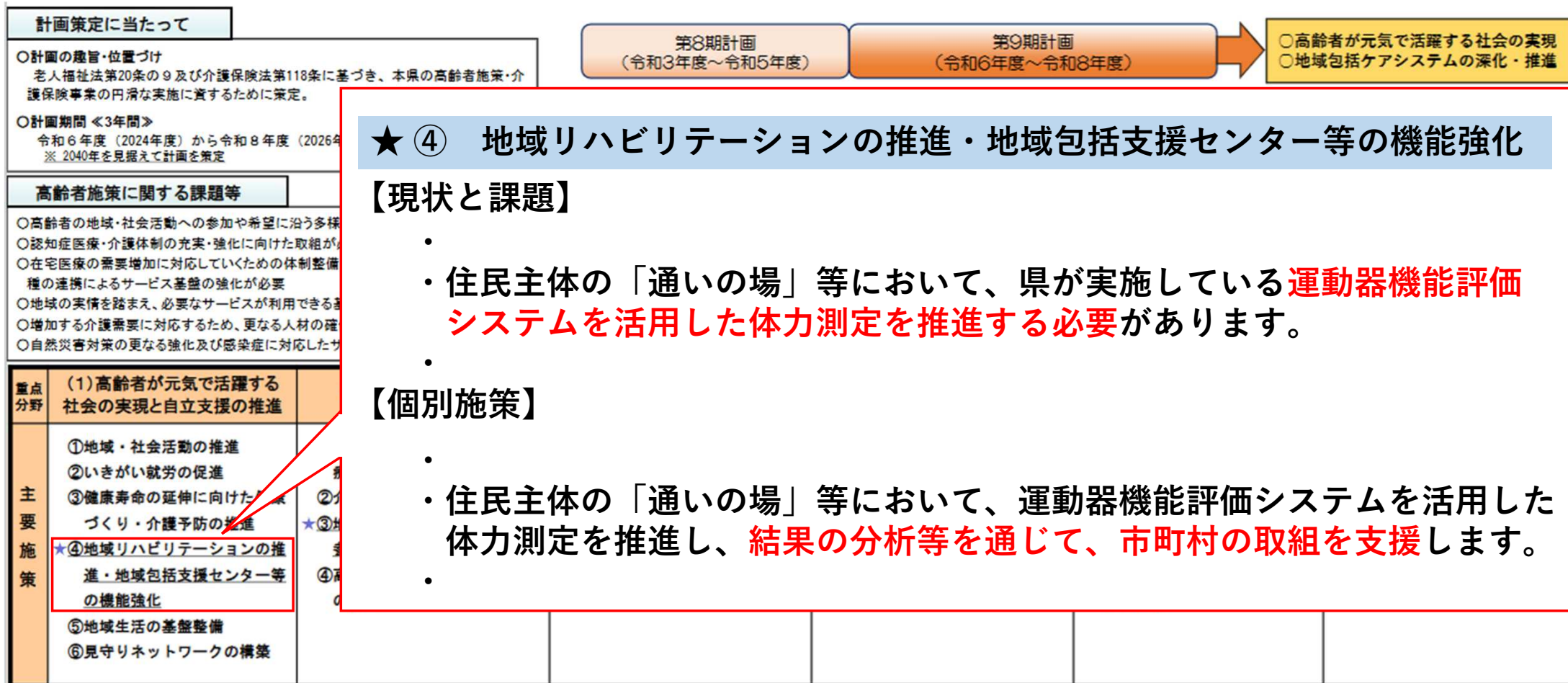
県医師会館オンライン研修 2025年9月24日

運動器機能評価に関するアンケート結果

熊本地域リハビリテーション支援協議会
公益社団法人 熊本県医師会理事

中村 英一

第9期熊本県高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画



熊本地域リハビリテーション支援協議会（20団体）

◆ 平成9年（1997年）介護保険法施行後より設立

◆ 会長：熊本県医師会長

熊本県医師会

熊本県歯科医師会

熊本県薬剤師会

熊本リハビリテーション研究会

熊本県精神科協会

熊本県理学療法士協会

熊本県作業療法士会

熊本県看護協会

熊本県療養病床・介護医療院連絡協議会

熊本県老人保健施設協会

熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会

熊本県訪問看護ステーション連絡協議会

熊本県老人福祉施設協議会

熊本県医療ソーシャルワーカー協会

熊本県社会福祉士会

熊本県介護福祉士会

熊本県栄養士会

熊本県言語聴覚士会

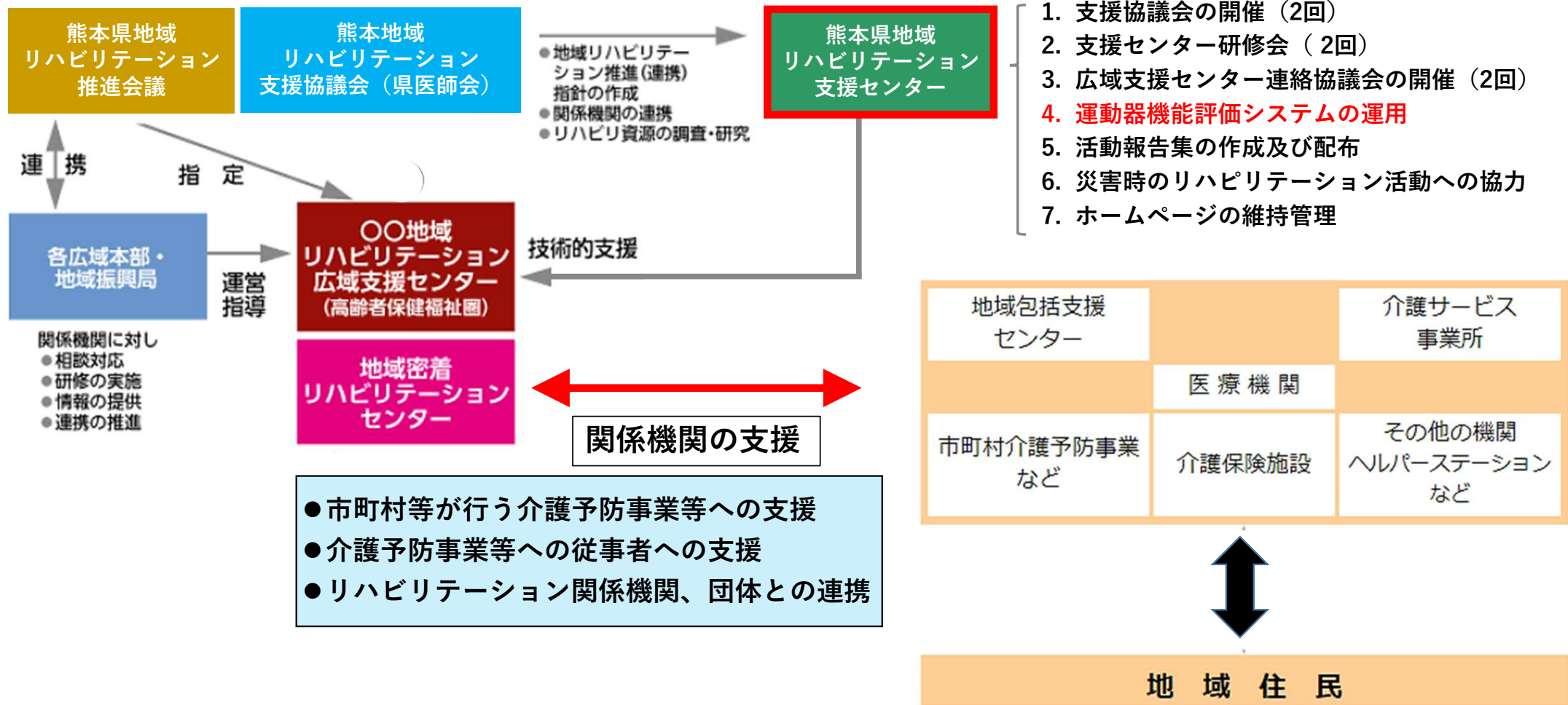
熊本県歯科衛生士会

熊本県介護支援専門員協会

◆ 平成12年（2000年）県の委託により、**熊本県地域リハビリテーション支援センター**を県医師会内に設置

◆ 以後、熊本県では、熊本県地域リハビリテーション支援センター業務を、上記の20団体からなる熊本地域リハビリテーション支援協議会へ委託

熊本県地域リハビリテーション推進体制の組織図



運動器機能評価事業

- ～R2年度
- 以前の評価フォームでは記入項目が140項目以上あり、記入が煩雑すぎる
 - 性別、年齢でしか解析ができず、データの解釈が困難である

R3年度 1) 評価：

- 誰が
- どのような項目を
- いつ、どんな方法で

広域・密着リハセンター、市町村・地域包括支援センター、各事業所など

同じ方法で評価する運動器機能評価フォームへ改訂、使用

➡ 普及

R4年度 2) データ収集：

- ）
- どのような方法で

フォームをメールで支援センター（県医師会）へ送付

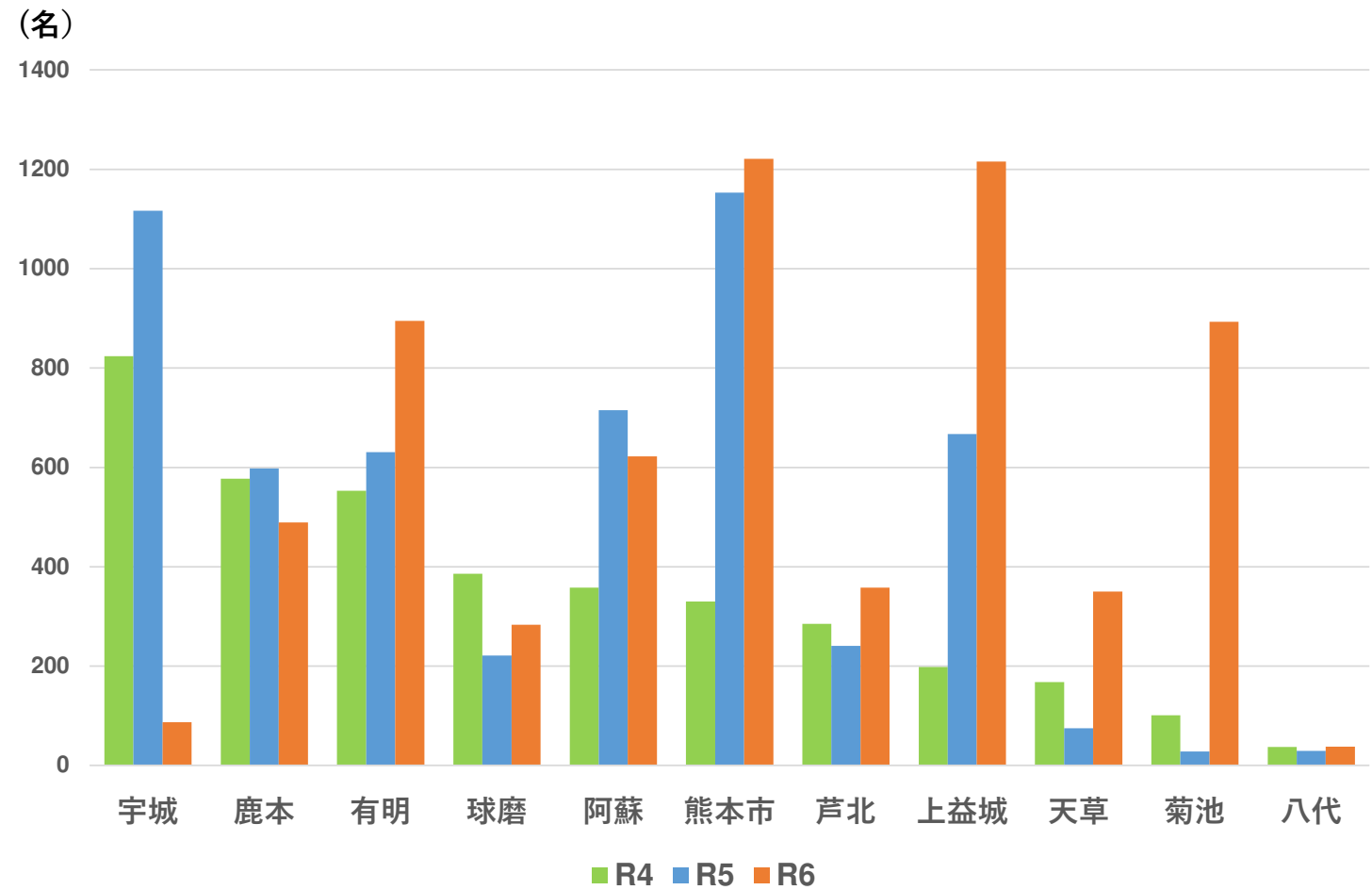
➡ 全圏域から収集

運動器機能評価に関するワーキンググループ

氏名	職種等	所属
坂崎 浩一	理学療法士	熊本県理学療法士会会長
田中 智寛	作業療法士	広域支援センター：にしくまもと病院
大田 幸治	理学療法士	広域支援センター：熊本リハビリテーション病院
林 寿恵	理学療法士	阿蘇温泉病院
北尾 昌平	理学療法士	地域密着センター：株式会社 ともいきLabo
中村 英一	医師	熊本県医師会理事

圏域別データ提出数

圏域	R4	R5	R6
宇城	824	1117	87
鹿本	577	598	489
有明	553	631	895
球磨	386	221	283
阿蘇	358	715	622
熊本市	330	1153	1221
芦北	285	241	358
上益城	198	667	1216
天草	168	75	350
菊池	101	28	893
八代	37	29	38
計(名)	3817	5475	6452



運動器機能評価事業

目的：熊本県内高齢者（65歳以上）について、県全体及び市町村等における体力を知ること
標準的なデータ（全国平均値）と比較し、事業参加者の運動器機能を客観的に評価する

1) 評価：

- 誰が
- どのような項目を
- いつ、どんな方法で

広域・密着リハセンター、市町村・地域包括支援センター、各事業所など

同じ方法で評価するフォームを使用



普及

2) データ収集：

- どのような方法で

フォームをメールで支援センター（県医師会）へ送付



全圏域から収集

3) データ解析：

- どうするか

何を解析するか？

解析方法は？

4) データ活用：

- どうするか

- ① 全国平均と比較し、熊本県高齢者の運動機能を客観的に把握する
- ② 各圏域等において介入効果を比較する
- ③ 個人ごとの運動機能の変化による介入プログラムの見直し・改善を行う



介入方法の改善・統一

5) システム改訂：

- 今後どうするか

システムの変更、評価項目の増減、個人の紐付け（KMN）など

現行システム



各端末に
アプリケーションごと
ダウンロード



測定データをフォームに入力
あるいは
エクセルデータからインポート



出力データを
メールで送付

- 各事業所レベルまでの分析
- 各市町村レベルまでの分析



- 各圏域レベルまでの分析
- 県全体の分析

熊本県理学療法士協会

データ分析・統計処理



提出データを集計

熊本県地域
リハビリテーション
支援センター
(県医師会内サーバー)

R6年度データ提出事業所：54カ所

圏域コード	圏域	事業所名
01	芦北	芦北町地域包括支援センター介護予防事 水俣市
02	阿蘇	くまもと健康研究所
		コクア
		阿蘇ふれあい
		熊本リハビリテーション病院
		高森町健康推進課
		産山村2次予防事業
		小国町
03	天草	西原村スーパーサロン
		上天草市健康福祉部高齢者ふれあい課
		天草牛深地域包括支援センターすいせん
		天草西地域包括支援センターさざんか
		天草東地域包括支援センターあじさい
		天草北地域包括支援センターきずな
		苓北町地域包括支援センター
04	有明	苓北町役場 福祉保健課
		玉名市役所 健康福祉部 高齢介護課
		荒尾市
05	宇城	和水町
06	鹿本	あさひコート別館通所リハビリ 済生会みすみ病院
07	上益城	山鹿市役所
		鹿本地域リハビリテーション広域支援センター
		益城町役場
		益城町役場 健康増進
		嘉島町
		御船町社会福祉協議会
		御船町役場
		甲佐町地域包括支援センター
		瀬戸病院通所リハビリ

圏域コード	圏域	事業所名
08	菊池	熊本リハビリテーション病院 合志市 高齢者支援課 包括支援センター班
09	球磨	介護老人保健施設リバーサイド御薬園
		五木村役場
		山江村地域包括支援センター
10	八代	湯前町
20	熊本市	八代市
		あけぼのクリニック
		ケアサポートメロンDEKIRU
		せいじのデイケアセンター
		医療法人 金澤会
		医療法人 敬 介護老人保健施設 葵の森
		医療法人財団聖十字会西日本病院
		介護老人保健施設 なすび園
		介護老人保健施設 青翔苑
		介護老人保健施設なでしこ
		熊本託麻台リハビリテーション病院
		広域リハ（にしくまもと病院）
		桜が丘病院
		春日クリニック
		上代成城病院
		聖ヶ塔病院
		朝日野総合病院

R6年度アンケート結果のまとめと回答

- ① 測定項目を5項目から3項目に減らすというご意見がありました。
項目数を減らしてでも、現在システムを使っていない事業所や市町村に使っていただく様にするかどうか？
→項目数は5項目のままでよいのではないか。
- ② 片脚立位は最大で60秒との記載する、TUGは通常速度での計測記載する。
→2026年1月以降から施行する。
- ③ 測定間隔を1年に1回にするか、2年に1回にするか？
→年1回でよいのではないか。
- ④ システム改修について？
→システム改修が望ましいが、今後どうするかさらに検討が必要。

R6年度質問事項のまとめと回答

- ① 「運動機能評価ソフト」の使用について質問させてください。複数回参加された方の結果報告書を作成する際、折れ線グラフにて測定値の推移表示機能があります。非常に有用に活用させて頂いておりますが、ひとつ困ったことがあります。作成する際、途中で欠落した測定値（症例：2回目の終了時）が存在すると、測定回を無視したグラフが作成されてしまいます。（※2回目終了時の値は存在しないが3回目測定値が置き換えられてしまう）解決方法があればご教授ください。
【谷田病院】
- ② 今季より初めて「運動器機能評価DB ver4.0」を活用してデータ処理をさせていただきました。データ入力から福祉課様への提出までの、作業時間、手続き等に延べ8時間以上を費やしました。また、地域リハ広域支援センターの先生に何度もご指導をいただき多大な配慮をいただきました。今後のデータ処理について伺いたいです。今回活用されているデータ処理・統合システムは何年ほど、活用される見通しでしょうか？ 改訂版の導入も含めてご教授いただきたいです。作業手続きの簡略化・時間短縮と、部署内での情報共有に活用したい次第です。
【御幸病院 リハビリテーション部】
- ③ 運動器機能評価の今後の展開について(通いの場等で展開方法)
【天草市役所高齢者支援課包括ケア推進係】